

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科： 芸術 科目： 書道 I 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 C 組～ H 組

使用教科書： 書 I（教育図書）

教科 芸術

の目標：

- 【知識及び技能】 基本的な表現および解釈に必要な知識と基本的な技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 自分や他人の作品・演奏について、根拠を持って評価・判断し、次段階の表現につなげることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 表現の幅広い可能性について、自ら色々な角度から取り組もうとしている。

科目 書道 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の特質を理解し、用具・用材の特徴と用筆・運筆との関係性を実技を通して体得する。書の美の表現を目指し、自らの意思に基づいて構想を練り、それを実現するための技能を臨書活動を通して身につける。	作品及び書の伝統と文化的価値を考え、書の美を鑑賞する資質や能力を育てる。体得した知識・技能を活かし深い鑑賞力を身につけ、構想に対する表現の工夫や分析的な思考をより深くする。感じ方や考え方の多様性を自覚し、適切な用語で言語化できるようにする。	自身の活動を振り返り、見通しを立てながら試行錯誤を繰り返すし、粘り強く取り組む姿勢を身につける。しよのびを感じながら、生活や社会の中での書や文字の意味や価値を主体的に見出す姿勢を身につける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
芸術書道を学習するために書道全般の基礎知識の確認と理解を深める。 古典を観察・臨書することで、芸術的視野を広げる。	学習内容と用具・用材の基礎知識。 書体の変遷とその歴史的背景との関連。 筆順の大原則・特例・由来及び筆順と文字造形の関連。 籠字による古典の臨書。		○	○	○	用具・用材の的確な知識の習得。 漢字五書体と仮名の書体の流れをつかむ。 筆順の正誤の確認と原則・例外の習得。 文字造形における筆順の意味を知る。	○	○	○	6
書の専門的な事柄の理解を図り、よりわかりやすく指導し、実践をする。	楷書の歴史。 用具・用材の特性を知る。 用筆・運筆の理解、基本点画の習得。 楷書の基本用筆及び基本点画。		○		○	正しい姿勢・執筆法・用筆法の理解と実践。 用具・用材の活用の理解と実践。 古典を通しての、基本結構の習得。	○	○	○	8
用筆・運筆と文字造形の関連性の理解。 楷書の文字造形の法則性を理解し、実践する。 楷書の多様性を知る。	臨書 孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 牛橛造像記 鄭羲下碑		○		○	造形をよく観察し、用筆を工夫しているか。 様々な古典の背景や特色を理解し、的確に表現しているか。 古典の内容により深く迫ろうとしているか。	○	○	○	12

1
学
期

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教科： 芸術 科目： 音楽Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ ON! 1（音楽之友社） ）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 自らの意図に基づいて音楽表現するための技能を身に着けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に着けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を工夫することや音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協同的に音楽の幅広い活動に取り組み生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに感性を高め音楽文化に親しみ音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 歌唱 曲想と音楽の構造を理解し、曲にふさわしい発声・発音などの技能を身に着ける。自己のイメージをもち、主体的・協同的に歌唱表現に取り組む。	指導事項 1 校歌 2 春への憧れ 3 Wiegenlied 40 sole mio 5 小さな空	○				【知】曲想と歌詞とのかかわりについて理解している。【思】旋律と楽曲の美しさの関わりについて考え、どのように歌唱表現するかについて表現意図を持っている。【態】楽曲のよさに関心をもち、主体的・協同的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	B 器楽 コードネームを理解し旋律と和音との関係を知覚して、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫する。	指導事項 C F G Dm Em Amのコードネームの基本形および展開型の理解。右手での旋律弾きの実施。		○			【知】コードネームの構成音を理解し、コード進行に則って両手で弾く技能を身に着ける。【思】旋律と和音の関係を知覚しどのように演奏するかについて表現意図を持っている。【態】キーボード演奏に関心をもち、主体的協同的に器楽の活動に取り組もうとする。	○	○	○	8
	C 創作 コードネームの響きを知覚しそれに合った音型旋律を、自己のイメージをもって創作表現を工夫する。	指導事項 コードネーム構成音による旋律の創作。構成音以外のおとを使った旋律の創作。4小節の楽曲創作。			○		【知】コードネームと旋律との関係を理解し、創作表現を創意工夫している。【思】コードネームの響きを感じ取り、それに適した旋律づくりに表現意図を持っている。【態】旋律創作に関心をもち、主体的協同的に器楽の活動に取り組もうとする。	○	○	○	8

